

都道府県名:山梨県 氏名:古屋 佳浩

地域

古屋氏がご活躍されている山梨県峡東地域は甲府盆地の東部に位置し、甲州市、山梨市、笛吹市の3市を包括し、全県面積の約16.9%を占めています。周囲を2,000m級の奥秩父山系や大菩薩嶺に囲まれ、気温の日較差、年較差の大きい内陸的気候です。気温の低い割には積雪が少ないのが特徴です。峡東地域の森林面積は、県有林26,700ha、民有林24,148ha、都有林5,608ha、国有林209ha、合計56,665haで、森林率は約75%です。森林面積の約半分は人工林で、カラマツ、ヒノキ、スギが主体となっています。

経緯

- 平成8年6月～平成22年5月 山梨県県有林造林推進協議会 役員(理事12年、監事2年)
- 平成11年6月～平成22年5月 峡東地区県有林造林推進協議会 副会長
- 平成20年6月～平成27年5月 林業・木材製造業労働災害防止協会山梨県支部山梨分会長
- 平成23年6月～平成27年5月 林業・木材製造業労働災害防止協会山梨県支部長

功績内容

古屋氏は峡東地域一帯の県有林を主な舞台として、昭和35年から現在までの55年間にわたり、森林整備に従事されてきました。その間、卓越した技術と情熱、研究心を持って自ら先頭に立ち、これまでに620ha、その内、水源涵養保安林内では470haの優良造林地を造成しています。

さらに、林業公社造林事業、保安林整備事業の推進にも携わり、水資源のかん養と国土保全、森林資源の造成に貢献してきました。

また、労働災害の発生頻度が極めて高い林業界にあって、豊富な知識と経験をもとに、安全作業の普及・指導に率先して取組み、平成20年6月からは林業・木材製造業労働災害防止協会山梨県支部の山梨分会長に加え、平成23年6月からは県支部長も務めており、林業労働環境の改善の面でも大いに尽力されています。



甲州市塩山上萩原の県有林造林地



甲州市塩山上萩原のカラマツ人工林



林業災害防止研修会にて安全指導



林災防山梨県支部長あいさつ